

確定日（令和02 年 10 月 08 日）

事業コード	03080126	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略							
事業名	森林学習交流館緊急整備事業	施策コード	08	施策名	その他施策							
		指標コード	01	施策目標(指標)名	その他施策関連事業							
部局名	農林水産部	課室名	森林整備課		班名	調整・担い手班	(tel)	1750	担当課長名	戸部信彦	担当者名	三浦佑介
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和02年度～令和02年度	
1.事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症への感染防止と、減少している木材需要の喚起を図るため、森林学習交流館の利用者受入環境を早急に整備する必要があるほか、老朽化により早急に更新が必要な什器等の更新に当たり、展示効果が期待できる県産木製品を導入する必要がある。					3.事業目的(どういう状態にしたいのか) 新型コロナウイルス感染症への感染リスクを避けた施設利用に対応した受入態勢が整備されるほか、導入した什器等をきっかけに利用者の木材利用意欲が向上する。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望							
					4.目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 県民等 達成のための手段 ・木製パーティションの設置 ・木製テーブル及び椅子の整備 ・多言語対応木製看板の設置							
2.住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R02 年 08 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 新型コロナウイルス感染症への感染を防止するための木製パーティションの設置及び、老朽化した施設内の看板の改修について、早急な実施を求められている。また、県産木製品等の県内需要拡大に向けたPRが求められている。					比較した代替手段及び選択した手段の有効性 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、早急な対策が必要であるほか、施設内の看板は老朽化が著しく、修繕は困難であり交換が必要である。また、木製品については実際に使ってもらう場面の提供が効果的である。							
把握してない場合の理由及び今後の方針												
理由												
今後の方針												
5.事業の全体計画及び財源												
事業内記		左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	単位(千円) 全体(最終)計画	
01	森林学習交流館緊急整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため木製パーティションを設置するとともに、県産木製品の展示効果による需要喚起を図るため老朽化した看板の改修や什器の整備を行う。			12,500	0	0	0	0	0	12,500	
財源内記		左の説明			12,500	0	0	0	0	0	12,500	
国庫補助金		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			12,500	0	0	0	0	0	12,500	
県債					0	0	0	0	0	0	0	
その他					0	0	0	0	0	0	0	
一般財源					0	0	0	0	0	0	0	

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果

森林学習交流館において、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生が無く、安定して施設の運営・管理が行われる。

指標名

森林学習交流館における新型コロナウイルス感染症クラスター発生数

指標の種類

指標式

秋田県森林学習交流館において、新型コロナウイルス感染症の患者が複数発生し、保健所等からクラスターの発生と認定された回数

● 成果指標
○ 業績指標

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標

30年度

01年度

02年度

03年度

04年度

05年度

06年度

最終年度

目標a

0

0

実績b

データ等の出典

東　北

森林整備課調べ

全　国

把握する時期

● 当該年度中 03月　○ 翌年度　月　○ 翌々年度　月

指標名

指標の種類

指標式

○ 成果指標
○ 業績指標

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標

30年度

01年度

02年度

03年度

04年度

05年度

06年度

最終年度

目標a

実績b

データ等の出典

東　北

全　国

把握する時期

○ 当該年度中　月　○ 翌年度　月　○ 翌々年度　月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法

指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

ウィズコロナにおいて施設が営業を続けるためには、新型コロナウイルス感染症への感染防止のための利用者受入環境を早急に整備する必要がある。また、老朽化により早急な更新が必要な什器の更新に当たっては、展示効果を期待できる県産木製品の導入が必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性

感染防止対策への支援を求める声があるなどニーズに基づいた事業であり、必要性は高い。

事業の県関与の必要性

☐ 法令・条例上の義務

☐ 内部管理事務

☒ 県でなければ実施できないもの

☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県有施設であるため、県でなければ実施できない。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○ 重点事業

○ その他